

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 吉舎工場

(2) 事業所の所在地

広島県三次市吉舎町矢井10428-1

(3) 業種

1121 綿・スフ織物業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和6年度から令和12年度までの7年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

1、基本的な考え方

当社は、企業理念の追求を根幹とし、デニムの開発・生産・販売において、環境・社会・経済の調和を目指し、地球環境負荷の低減、省資源化、再資源化を軸として活動を展開し、持続可能な社会の構築に貢献します。

2、方針

- 環境に関する法令等の遵守
- 自然環境への配慮
- 資源、エネルギーの有効活用
- 継続的改善と持続可能な社会形成
- 環境方針の周知と開示

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成30 (2018) 年度	令和5 (2023) 年度
二酸化炭素	18,505	11,932

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成30 (2018) 年度	令和5 (2023) 年度
二酸化炭素	62	64

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成30 (2018) 年度	令和5 (2023) 年度
メタン	31	30
一酸化二窒素	2	1
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )	0	0

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30 (2018) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	18,505	7.0	1,295	17,210		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	62	7.0	4	58		
メタン	31	7.0	2	29		
一酸化二窒素	2	7.0	0	2		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	18,600	7.0	1,301	17,299		
温室効果ガス みなし排出量	18,600	-	10,789	6,510		
目標設定の考え方	実排出量年1.0%の削減率と環境価値の活用により、2018年度比65%削減					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)、原単位置量(kg等)、削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 ( ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	・ 電気の使用量を5%削減	・ 省エネ機器への変更 ・ 高効率照明器具への更新
		・ 購入電力を1.5%削減	・ 太陽光発電設備の導入
2	燃料使用量の削減	・ LNG使用量を5%削減	・ ボイラ運転台数の最適化 ・ 蒸気漏れ修理 ・ 保温の修繕
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	非化石証書	10,789t-CO2
2		
3		

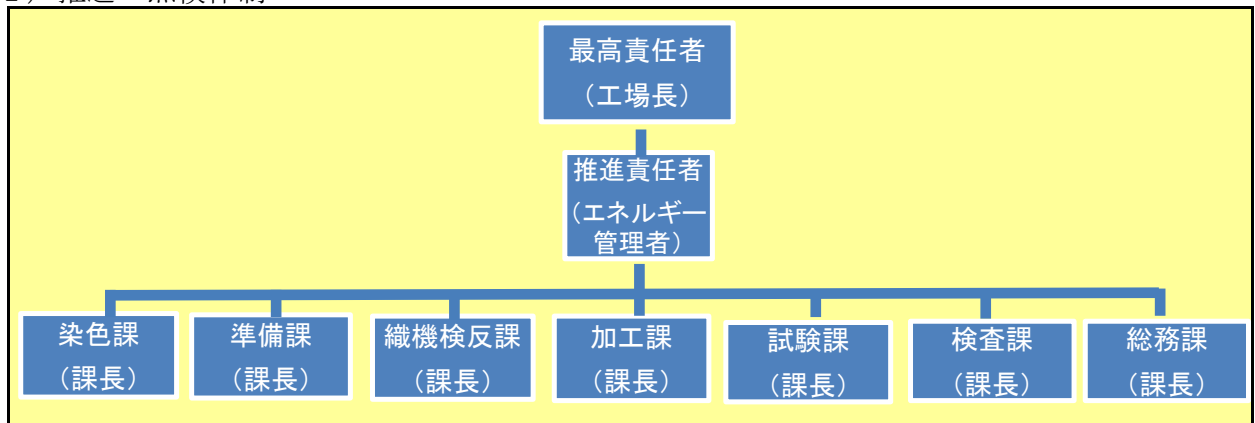
### ○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	再資源化率目標99%	・ 分別収集及び資源化の徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

月1回開催している省エネ検討会で取組み状況の把握、点検、問題点の検討を行う。

### (3) 計画書等の公表

事務所に備え付け来客者などにいつでも閲覧できるように設置する。